

人間性復活

第 193 号

人間性復活とは、物質偏重の現代文明の中にあつて、人間の精神生活を重んじて、その復権を図ることにはかならない。

男女の正しい性の有り方について

一般社団法人 人間性復活運動本部 理事 内田 渉

儒教では、三綱五常の理念によつて、夫は妻に太い綱を投げ与え、生涯愛し導くことが務めとなつていますが、今回は男女の正しい有り方について改めて考えてみたいと思います。

そもそも男女の性差は人間だけではなく、広く自然界を見渡せば、動物に於いてオス、メスの性差があり、植物に於いてもオシベ、メシベの性差が確認できます。雄雌の両性の融合によつて新しい生命を生み出し、自己の種族を存続していくことは自然界の大法則となつています。

先ず、犬や猫と言つた人間に比較的、身近な動物の性を観察すると、そこには、或る短い発情

時期に於いて、本能的な性衝動によつて雌雄が出会い、新しい子孫を残すことが多いと推察されます。そこには、その本能的な性衝動を抑制し、コントロールする理性や好きと言つた感情や信頼すると言つた精神性は殆ど見出せないと言えます。ところが、人間に於いては、それらの動物とは根本から異なり、自己の生物的な性衝動を抑制し、コントロールする理性や、好き

と言つた感情、また、信頼、尊敬と言つた高い精神性の存在を認めることが出来ます。これらの理性や精神性こそ、人間と動物を分ける大きな指標であると言えます。

故に、若い未成年の男女が理性や精神的な信頼関係と言つた高度なものを経ることなく、肉体的な性衝動だけで軽く結びつき、性を弄ぶと言つた軽率な行いをするるとすれば、それは、まさに動物的な低次元な性の世界と言えるでしょう。また、これだけでなく、成人の浮気、不倫、性的殺人事件など枚挙にいとまがありませんが、これらは、もはや動物以下の鬼畜の所業と言わねばなりません。人間が自己の気高さを忘れ、性に踊らされ、

動物以下の卑しい世界へ堕ちることが如何に恐ろしいことであるか、肝に銘じておかなければなりません。これらは、仏教で言う卑しい「畜生界」の姿と言えるでしょう。性の内包する暗部は極めて深いと言えます。

太古の昔から、人間の幸福は健全な「結婚」にあるのであり、全ての人々が人間らしい豊かな精神性により育まれた健全な男女の交際を経て、信頼と親しみに満ちた明るい家庭を築いて行くことこそ人に与えられた道であり、生涯、一人と決めた異性への愛を貫いてこそ人として価値あり、尊いことなのです。

以上

～現場から見た『いじめ』～

小学校教諭 茂木 慎太郎

令和六年十二月十四日に、「第二回人間性復活運動フォーラム・さいたま」が、さいたま市にある埼玉会館にて開催された。今回のテーマは、「いじめはなぜ起きるのか？」である。学校教育に携わる者として、避けては通れない問題、『いじめ』。小学校で働いている自身の立場から、昨今のいじめ問題について、話をさせていただいた。「いじめ」という言葉を聞いて、どのようなイメージが湧くだろうか。強いものが弱いものに危害を加える、よってたかかって誰か一人に嫌がらせをする、気に入らない子の靴を隠す…。これらの行為は、紛れもなくいじめであるが、時代の移り変わりと共に、「いじめ」という言葉の定義は変わってきている。世の中からいじめを減らすためには、「いじめ」とはどのような行為であるかを正しく認識し、大人一人一人が「いじめ」と向き合っていく必要があると考える。

令和六年十二月十四日に、「第二回人間性復活運動フォーラム・さいたま」が、さいたま市にある埼玉会館にて開催された。今回のテーマは、「いじめはなぜ起きるのか？」である。学校教育に携わる者として、避けては通れない問題、『いじめ』。小学校で働いている自身の立場から、昨今のいじめ問題について、話をさせていただいた。「いじめ」という言葉を聞いて、どのようなイメージが湧くだろうか。強いものが弱いものに危害を加える、よってたかかって誰か一人に嫌がらせをする、気に入らない子の靴を隠す…。これらの行為は、紛れもなくいじめであるが、時代の移り変わりと共に、「いじめ」という言葉の定義は変わってきている。世の中からいじめを減らすためには、「いじめ」とはどのような行為であるかを正しく認識し、大人一人一人が「いじめ」と向き合っていく必要があると考える。

さて、各学校ではいじめ問題に取り組むために、その学校に応じた「いじめ防止基本方針」というものを策定している。これはいじめの解決や未然防止に向けて、どのような取り組みを行っていくかという学校ごとの方針であり、私の勤務校でももちろん策定されている。方針に示された主な取り組みは、次のようなものである。

- ・ いじめ防止対策委員会（管理職、担任、養護教諭、スクールカウンセラー、地域、PTA…）の設置
- ・ 未然防止の取り組み（分かりやすい授業作り、道徳教育の充実、SOSの出し方の指導、命に関する授業…）
- ・ ふれあい月間（六月、十一月、二月）

いじめはなぜ起きるのか



・いじめ防止に関する教員研修の実施
また、年3回のふれあい月間では、学校生活についてのアンケートを全児童に対して実施している。アンケートの内容としては、①友達に嫌なことをされたことがあるか。②それはどのようなものか。という2点である。私の受け持つクラスでのアンケートでは、次のような回答が見られた。「今日は3人で遊びたいから…」と言われて、一緒に遊べなかった。

・友達にあだ名をつけられた。
・友達に嫌なことを言われた。(自分も言うだけ。)

・自分で解きたかったのに、友達に問題の解答を先に言われた。

・ドッジボールで狙われた。

今までの感覚からすると、これらの理由は些細なことだと思うかもしれないが、先に述べた定義によりこれらはいじめと認定され、解決に向けた話し合いがもたれることとなった。

学校は小さな社会であり、人が集団で生活をする以上、人間関係の軋轢は必ず生じる。大人でも起こりうることで、子供同士の集団生活であればなおさらだ。しかし、子供たちはそのようなことを経験し、解決の過程で相手の気持ちや思いを知ったり、自分の行ったことを振り返ったりしながら成長していく。いじめは決して許されることではない。しかし、現在の定義によると、いじめを0にすることは非常に難しい。よって、今の教育現場では発想の転換が求められている。目指すべきは、『いじめ0ではなく、いじめ見逃し0』。どんなクラスにおいてもいじめは存在するものと考え、いじめが発見された場合や兆候が見られた場合は即座に対応し、重大事態に発

展する前に解決を図ることが必要なのである。

子供を正しい方向に導いていくことが教師（大人）の役割である。子供が出すSOSを敏感に察知し、困っていたらすぐに話を聞いてあげられるような存在でありたい。人間関係が希薄になっている現代において、多くの大人が子供たちにとって信頼できる存在になっていけることを願う、これからの活動を続けていきたい。

（令和六年十二月十四日・さいたま支所主催）「第二回人間性復活運動フォーラム・さいたま」より抜粋

以上



特別養護老人ホーム 介護課課長の役割

介護職員の教育と指導を適切に行い利用者様が安心して快適に日常生活できるように努めます



介護課課長 高瀬きみよ

福寿園 みなみ野

特別養護
老人ホーム

社会福祉法人 共助会



上記 QR コードで施設の動画が視聴できます。

●職員に欠員が出ると入浴介助も行います

——介護課課長として、主にどのようなことをされていますか。

高瀬 介護職員のまとめ役、他職種との調整、備品の管理や人材育成、支出も削減等、主に管理が仕事ですが、出勤したら先ず今日の予定をパソコンで確かめます。夜勤者から申し送りを受け、その内容を朝礼で報告します。朝礼後は、施設内を廻って利用者様の様子をみて、声かけをしています。勤務に欠員が出れば、私が直接現場に入って、入浴介助などをすることもあります。

職員の間で一緒に話し合うことは、月に一度、ユニットリーダー会議で、ユニットで検討すべきこと、問題点などがあればその時に話し合います。

介護職の仕事といえば、利用者様の日常生活を全体的に支援することです。それには、身体介護、健康管理、レクリエーションの実施などがあります。

——身体介護、健康管理とはどのようなことをされるのですか。

高瀬 身体介護とは、食事介助（食事の配膳など）、入浴介助（着替えや洗身など）、排泄介助（トイレ誘導、おむつ交換など）

になります。

健康管理とは、利用者様の様子を日頃からチェックすることで、体調不良やケガなどがあれば看護師に報告することになります。

利用者様に於いて適切な介護を行うために職員の教育、指導があります。これは大切なことで、それだけに大変なこともあります。

●相手を思い遣り、尊重した言葉遣いは評価の対象です

——職員の教育とは、どのようなことをされるのですか。

高瀬 入職した時にオリエンテーション（環境に順応する教育）があります。それから、三ヶ月ぐらい経つと、職員の勤務評価をすることになります。例えば、A職員の働き方で、介護の技術面で不足していることがあれば、一緒に行って見せることになります。

そうした教育は、一度で終了することはなく、長期間にわたります。介護職員として、次のステップに行く上で、勤務評価は欠かすことができません。そうした評価は、利用者様に不適切な対応をすることがないようにするためです。

職員一人一人は、リーダーに評価してもらい、その報告を受けます。仕事上において笑顔を保ちたいことも大事です。

笑顔はマスク越しにも分かります。利用者様にも、職員同士でも相手を思い遣る言葉、尊重した言葉遣いは大切なことで、評価の対象になります。

——これまで介護の仕事をしてこられて、喜びを感じることもあると思いますが、それは、どのような時ですか。

高瀬 利用者様が明るく過ごしておられると、それだけでこちらも嬉しくなります。そういうことって、日常的にあることですね。それから、人と人との関わりの中で、職員同士の間にも、明るい笑顔が見られる時ですね。

あと、月並みなことですが、利用者様から「ありがとう」と言われること、感謝されることがあると嬉しい気持ちになりますね。

（インタビュー・本文構成 本誌編集部）

■施設見学、随時行っております。お気軽にお問い合わせください。

2018年4月1日、全室個室のユニット型、特別養護老人ホームとしてオープンしました。スタッフ一同、優しい心と丁寧な言葉、ご利用者様お一人お一人の人間性を尊重した、きめ細かなケアをモットーにご利用をお待ちしております。

●施設見学、随時行っております。お気軽にお問い合わせください。

〒192-0916 東京都八王子市みなみ野 6-21-1
TEL : 042-635-5015 FAX : 042-635-5016



人間性復活

2025年6月1日発行

第50巻第2号(通刊193号)

編集者 星 博信

発行所

一般社団法人 人間性復活運動本部

〒150-0044 東京都渋谷区円山町24番6号
神泉共栄ビル4F

mail : info@ningensei.or.jp

https://www.ningensei.or.jp/

「人間性復活」は特許庁に商標登録されています。

登録番号：第4752840（平成26年7月29日再取得）

